

厚生労働大臣

殿

学校法人 福岡大
開設者名 理事長 鎌田 迪

福岡大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	83人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	357人	82人	407.1人	看護業務補助	55人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	4人	10.2人	理学療法士	8人	臨床検査技師	74人
薬剤師	44人	8人	10.2人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	34人	0人	34.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	738人	7人	744.6人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	2人	その他の技術員	15人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	138人
管理栄養士	8人	0人	8.0人	診療放射線技師	42人	その他の職員	23人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	747.9人	6.2人	754.1人
1日当たり平均外来患者数	1,074.1人	47.0人	1,121.1人
1日当たり平均調剤数	1,171剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
超音波骨折治療法	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	8人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 体表面から胸膜を穿破して、肺悪性腫瘍に対してCTガイド下にラジオ波電極針を穿刺し、ラジオ波凝固を行う。			
医療技術名	骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 疼痛を惹起する類骨骨腫病変(nidus)に対して画像誘導下にラジオ波電極針を穿刺し、ラジオ波凝固を行う。			
医療技術名	腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 経皮的に病変のある脊椎椎体に針を刺入し、その針から骨セメントを注入して脆弱した脊椎椎体の骨強度を回復させる治療法。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ペーチェット病	45人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	38人	・広範脊柱管狭窄症	23人
・重症筋無力症	71人	・原発性胆汁性肝硬変	56人
・全身性エリテマトーデス	128人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	55人
・再生不良性貧血	22人	・混合性結合組織病	18人
・サルコイドーシス	34人	・原発性免疫不全症候群	0人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・特発性間質性肺炎	24人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	64人	・網膜色素変性症	21人
・特発性血小板減少性紫斑病	60人	・プリオン病	6人
・結節性動脈周囲炎	19人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	191人	・神経線維腫症	29人
・大動脈炎症候群	14人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	6人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	65人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	124人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	9人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	310人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・後縦靭帯骨化症	102人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	41人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェグナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	17人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	27人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心超音波検査	・
・腋窩リンパ節廓清術の実施前におけるセンチネル	・
・リンパ節の固定及び生検	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検カンファレンス27回、泌尿器カンファレンス24回、消化器カンファレンス12回、外科病理カンファレンス45回、皮膚カンファレンス12回、乳腺画像カンファレンス12回、腎カンファレンス22回、脳外科カンファレンス11回、肺癌カンファレンス12回
部 検 の 状 況	部検症例数 40例 / 部検率 16.50%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
創薬の可能性:新規ペプチド型合成HDLの開発	朔 啓二郎	循環器内科	1,690,000円	補委 独立行政法人日本学術振興会
各種アンジオテンシンII 1型受容体ブロッカーの特性を生かした新たな創薬へ向けて	三浦 伸一郎	循環器内科	1,690,000円	補委 独立行政法人日本学術振興会
星状神経節アブレーションを用いた新しい心不全治療の試み	小川 正浩	循環器内科	1,560,000円	補委 独立行政法人日本学術振興会
合成HDLの多面的効果	木谷 嘉博	循環器内科	1,300,000円	補委 独立行政法人日本学術振興会
B型肝炎硬変の各種核酸アナログ製剤使用中の発癌例の検討	向坂 彰太郎	消化器内科	2,000,000円	補委 厚生労働省厚生科学研究費補助金肝臓等克服研究事業(肝臓分野)
PBC患者における膜トランスポーターの発現	向坂 彰太郎	消化器内科	500,000円	補委 厚生労働省精成科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
B型肝炎ウイルスのエンテカビル耐性遺伝子変異	釈迦堂 敏	消化器内科	500,000円	補委 厚生労働省「おおい」臨床医学研究費助成金受賞 財団法人 医療・介護・教育研究財団
進行性腎障害に関する調査研究	斉藤 喬雄	腎臓・膠原病内科	1,600,000円	補委 厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
リポ蛋白糸球体症の発症・進展に関するアポE異常とFc受容体異常との相互作用の解明	斉藤 喬雄	腎臓・膠原病内科	1,560,000円	補委 文部科学省 基礎研究C
IgG4関連腎疾患におけるT細胞の分化の解析	中島 衡	腎臓・膠原病内科	1,950,000円	補委 文部科学省 基礎研究C
ループスエリテマトーデス発症におけるTh17細胞集団の果たす役割とその制御機構	中島 衡	腎臓・膠原病内科	100,000円	補委 文部科学省 萌芽研究
ウイルス感染症後の自然免疫と獲得免疫の相互作用によるIgA腎症の発症機序の解析	三宅 勝久	腎臓・膠原病内科	2,210,000円	補委 文部科学省 若手研究(B)
COPD発症に関するTNFレセプター関与の意義とその臨床への応用	藤田 昌樹	呼吸器内科	400,000円	補委 財団法人 臨床研究症例基金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 達夫	神経内科・健康管理科	2,500,000円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
身体活動の研究拠点形成	山田 達夫	神経内科・健康管理科	1,000,000円	補委 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
認知症の実態把握に向けた総合的研究	山田 達夫	神経内科・健康管理科	10,000,000円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
プリオン病に対する診断・治療技術開発に関する研究	山田 達夫	神経内科・健康管理科	2,000,000円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防のための前向き研究	坪井 義夫	神経内科・健康管理科	100,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金基礎研究C

パーキンソン病に対する視床下核刺激術:治療成績の向上と医療経済効果の検討	馬場 康彦	神経内科・健康管理科	1,100,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金基盤研究C
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	廣瀬伸一	小児科	700,000円	補委	厚生労働省精神・疾患研究委託費
乳児重症ミオクロニーてんかんにおける変異イオンチャネル蓄積病態の実証	廣瀬伸一	小児科	600,000円	補委	日本学術振興会
多次元的研究手法による「チャンネル病」としてのてんかんの統合的分子病態研究	廣瀬伸一	小児科	20,000,000円	補委	文部科学省
ヒトてんかんの遺伝子改変モデル動物の作出と革新的治療の開発	廣瀬伸一	小児科	1,960,000円	補委	日本学術振興会
乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究	廣瀬伸一	小児科	1,500,000円	補委	厚生労働科学研究費
脳形成異常の成立機序の解明と治療法確立のための融合的研究	廣瀬伸一	小児科	2,000,000円	補委	厚生労働省精神・疾患研究委託費
性同一性障害に対するホルモン療法が心理・認知機能に及ぼす影響についての縦断的研究	永井 宏	精神神経科	650,000円	補委	文部科学省
自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	衛藤 暢明	精神神経科	200,000円	補委	厚生労働省
最先端胸部手術医療技術のアジアに向けた教育的配信と環境の構築	岩崎 昭憲	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	1,170,000円	補委	日本学術振興会
短腸症候群における腸管延長術STEP法の有用性についての基礎的研究	増本 幸二	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	1,690,000円	補委	日本学術振興会
軟部肉腫細胞株の樹立とその分子基盤の解明-分子標的治療の開発に関する研究-	西尾 淳	整形外科	1,000,000円	補委	整形災害外科学研究助成金財団研究助成金
非円形細胞肉腫の分子基盤の解明とその臨床応用に関する研究	西尾 淳	整形外科	300,000円	補委	福岡県対がん協会がん研究助成金
悪性軟部腫瘍の分子機構の解明とその診断・治療への応用	西尾 淳	整形外科	2,470,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
脂肪性腫瘍の分子機構に基づく診断法の確立	西尾 淳	整形外科	500,000円	補委	臨床研究奨励基金
SPECTを用いた脳血管病変診断法の標準化と臨床的評価	井上 亨	脳神経外科	800,000円	補委	厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	中山 樹一郎	皮膚科	1,100,000円	補委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	中山 樹一郎	皮膚科	1,100,001円	補委	厚生労働省
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	今福 信一	皮膚科	500,000円	補委	厚生労働省
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究	中山 樹一郎	皮膚科	150,000円	補委	厚生労働省
高度癌治療プロセス構築チーム「高度先進医療を支援するハイパフォーマンスバイオマテリアルの創製とその医療用デバイスとしての応用」	江本 精	産婦人科	27,000,000円	補委	文部科学省学術フロンティア、明治大学科学技術研究所「先端医療材料創製」
超音波を併用した癌分子標的・血管新生阻害療法の臨床導入に向けての研究	江本 精	産婦人科	5,500,000円	補委	文部科学省基盤研究B
卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	宮本 新吾	産婦人科	25,000,000円	補委	文部科学省、橋渡し研究

「shRNAライブラリーを用いた癌標的治療薬適応の治療診断」	宮本 新吾	産婦人科	4,800,000円	補 委	柿原科学技術研究財団
統計的数理モデルを用いた早産発生リスクの定量化とそれに基づく早産予防法の開発	宮本 新吾	産婦人科	874,000円	補 委	財団法人日母おぎや一献金基金
アデノウイルス眼感染症の新しい薬物治療の開発と臨床応用に関する研究	内尾 英一	眼科	1,100,000円	補 委	文部科学省(基盤研究C)
網膜血管形成不全疾患の遺伝子解析	近藤 寛之	眼科	1,300,000円	補 委	文部科学省(基盤研究C)
好酸球性中耳炎の病態解明による難治性中耳炎に対する治療戦略	中川 尚志	耳鼻咽喉科	500,000円	補 委	日本学術振興会
MR計算画像T2*及びT2mapによる生体肝内鉄の非侵襲的評価とその臨床応用	吉満 研吾	放射線科	1,600,000円	補 委	文部科学省基盤研究(C)
切除可能中等度進行食道癌の治療、食道切除か根治的放射線治療か:多施設研究	吉満 研吾	放射線科	50,000円	補 委	文部科学省基盤研究(B)
MRIおよびCT画像による筋・肝脂肪量の評価の研究	吉満 研吾	放射線科	1,000,000円	補 委	私立大学戦略的研究基盤形成支援
神経筋疾患患者の咀嚼嚥下機能の調査	梅本 丈二	歯科口腔外科	400,000円	補 委	日本学術振興会 科学研究費 若手研究(1)
癌浸潤促進因子EMMPRINの多機能性メカニズムの解析	鍋島 一樹	病理部	1,560,000円	補 委	文部科学省基盤研究 C
高性能シミュレーターシステム	石倉 宏恭	救命救急センター	4,032,000円	補 委	文部科学省

計52件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Oncol 20(4):715-21, 2009	The international prognostic index predicts outcome in aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma: analysis of 126 patients from the International Peripheral T-cell Lymphoma Project.	田村 和夫	腫瘍・血液 感染症内科
Anticancer Res 29(2):625-630, 2009	Phase II study of weekly paclitaxel for advanced or metastatic breast cancer in Japan.	田村 和夫	腫瘍・血液 感染症内科
J Clin Exp Hematop 49(1):1-7, 2009	Oncogene associated cDNA microarray analysis shows PRAME gene expression is a marker for response to anthracycline containing chemotherapy in patients with diffuse large B-cell lymphoma.	田村 和夫	腫瘍・血液 感染症内科
J Clin Exp Hematop 49(2): 69-75, 2009	Cladribine treatment in two-hour intravenous infusion for previously-treated low grade B-cell lymphoma: a pilot	高松 泰他	腫瘍・血液 感染症内科
Leuk Lymphoma 50(1):92-100, 2009	Efficacy and safety of micafungin, an echinocandin antifungal agent, on invasive fungal infections in patients with hematological disorders.	田村 和夫	腫瘍・血液 感染症内科
Leuk Lymphoma 50(11):1818-1823, 2009	Addition of rituximab to cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisolone therapy has a high risk of developing interstitial pneumonia in patients with non-Hodgkin lymphoma.	勝屋 弘雄 他	腫瘍・血液 感染症内科
Pathol Int 59:874-879, 2009	Pleural malignant mesothelioma with invasive micropapillary component and its association with pulmonary	茂木 愛他	腫瘍・血液 感染症内科
Cancer Sci 100(10):1842-1847, 2009	Prognostic impact of immunohistochemical biomarkers in diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	田村 和夫	腫瘍・血液 感染症内科
J Clin Exp Hematop 49(1):9-13, 2009	Attenuated antibody reaction for the primary antigen but not for the recall antigen of influenza vaccination in patients with non-Hodgkin B-cell lymphoma after the administration of Rituximab-CHOP.	高田 徹他	腫瘍・血液 感染症内科
Jap J Antibiotic 62(6):502-508, 2009	2006年から2008年の3年間に分離された緑膿菌の薬剤感受性に関する検討	高田 徹	腫瘍・血液 感染症内科
Trends in Cancer Research 5:21-27, 200	Engineering T cells in cancer immunotherapy: Strategy for gene construction and antitumor activity.	高田 徹	腫瘍・血液 感染症内科
臨床血液 50(4):276-281, 2009	Dose intensityの重要性-乳がんアジュバント療法から学ぶ	田村 和夫	腫瘍・血液 感染症内科
Endocrinology 150:5606-16, 2009	A novel synthetic androgen receptor ligand, S42, works as a selective androgen receptor modulator and possesses metabolic effects with little impact on the prostate.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Diabetes Research and Clinical Practice 86:50-53, 2009	Impact of metabolic syndrome on the progression of intima-media thickening in Japanese-A follow-up study.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Biol.Pharm.Bull. 32:1906-11, 2009	6-Deoxy-6-[131I]iodo-L-ascorbic acid for the in vivo study of ascorbate: autoradiography, Biodistribution in normal and hypolipidemia rats, and in tumor-bearing	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Differentiation 77:369-76, 2009	TRAIL pathway components and their putative role in granulosa cell apoptosis in the human ovary.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Environ Health Perspect.18(3):400-6, 2010	Peroxisome Proliferator Activated Receptor-gamma Mediates Bisphenol A Inhibition of FSH-Stimulated IGF-1, Aromatase, and Estradiol in Human Granulosa Cells.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Endocrinology 151:3307-16, 2010	Dihydrotestosterone suppresses foam cell formation and attenuates atherosclerosis development.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Atherosclerosis 【203(1):137-144,2009】	Reconstituted high-density lipoprotein attenuates postinfarction left ventricular remodeling in rats	木谷 嘉博	循環器内科
Circulation Journal 【73(1):132-138,2009】	Are Metabolic Factors Associated With Coronary Artery Stenosis on MDCT ?	光武 良晃	循環器内科
Journal of Cardiology 【53(1):65-71,2009】	Association between cardiac function and metabolic factors including adiponectin in patients with acute myocardial infarction	木村 公美	循環器内科
J Atheroscler Thromb 【16:194-200,2009】	Genotypic effect of ABCG1 gene promoter-257T>G polymorphism on coronary artery disease severity in Japanese	古山 正大	循環器内科

Atherosclerosis 【203(1):75-81,2009】	Newly developed PPAR- α agonist (R)-K-13675 inhibits the secretion of inflammatory markers without affecting cell proliferation or tube	北島 研	循環器内科
Int J Cardiol【Epub ahead of print,2009】	HDL-associated factors provide additional prognostic information for coronary artery disease as determined by multi-detector row computed	光武 良晃	循環器内科
J Lipid Res【50:1832-1841,2009】	Effects of ROSuvastatin on electronegative LDL as characterized by Capillary isotachopheresis: The ROSARY study	瀬川 波子	循環器内科
Nova Science Publishers 【221-234,2009】	Angiotensin Progress. Differential pharmacotherapeutic effects of angiotensin II type 1 receptor blockers	三浦 伸一郎	循環器内科
Journal of Cardiology 【53(3):396-401,2009】	The impact of angulated lesions on angiographic late loss in patients with drug-eluting stent implantation	福田 佑介	循環器内科
Hypertension Research 【32(7):625-630,2009】	Safety and efficacy of antihypertensive therapy with add-on angiotensin II type 1 receptor blocker after successful coronary stent implantation	杉原 充	循環器内科
Coron Artery Dis. 【20(4):288-294,2009】	Intensive lowering of blood pressure and low-density lipoprotein cholesterol with statin therapy (LOBOCOP) may improve neointimal formation after coronary stenting in patients with coronary artery disease	高宮 陽介	循環器内科
Circ J【73(6):1151-1156,2009】	Association between Augmentation Index and Severity of Atheroma or Aortic Stiffness of the Descending Thoracic Aorta by Transesophageal Echocardiography	佐光 英人	循環器内科
Heart Rhythm 【6(8Suppl):S8-11,2009】	What have we learned about the contribution of autonomic nervous system to human arrhythmia ?	小川 正浩	循環器内科
Heart Rhythm【6(6):784-92,2009】	Mechanisms of recurrent ventricular fibrillation in a rabbit model of pacing-induced heart failure	小川 正浩	循環器内科
INTERNAL MEDICINE 【48:1731-1737,2009】	Significance of Urinary Liver-fatty Acid-binding Protein in Cardiac Catheterization in Patients with Coronary Artery Disease	福田 佑介	循環器内科
INTERNAL MEDICINE 【48:1929-1930,2009】	Do Angiotensin-converting Enzyme Inhibitors and Angiotensin II Receptor Blockers Have Similar Effects in the Improvement of Left Ventricular Dysfunction after Myocardial Infarction in Japanese?	三浦 伸一郎	循環器内科
Hypertens Res【Epub ahead of print,2009】	Do angiotensin II type 1 receptor blockers have molecular effects?	三浦 伸一郎	循環器内科
Biochem Biophys Res 【Epub ahead of print,2009】	Molecular mechanisms of the antagonistic action between AT(1) and AT(2) receptors	三浦 伸一郎	循環器内科
Intern Med【48(21):1893-1896,2009】	Coronary-pulmonary artery fistula with anomalous vessels arising from the right coronary sinus detected by 64-MDCT	光武 良晃	循環器内科
Journal of Cardiology 【54:485-489,2009】	Acute coronary syndrome associated with essential thrombocythemia	熊谷 尚子	循環器内科
Circulation 【120:160-169,2009】	Lecithin:Cholesterol Acyltransferase Expression Has Minimal Effects on Macrophage Reverse Cholesterol Transport In Vivo	谷川 宏之	循環器内科
Heart Rhythm 【6(12):1772-9,2009】	Cryoablation of stellate ganglia and atrial arrhythmia in ambulatory dogs with pacing-induced heart failure	小川 正浩	循環器内科
Hepatology Research 39:439-447, 2009.5	Effectiveness of combination therapy of splenectomy and long-term interferon in patients with hepatitis C virus-related cirrhosis and	森原 大輔 他	消化器内科
The Journal of International Medical Research 37:841-	Characteristic Genotypes of Vascular Endothelial Growth Factor are Susceptible to Ascites in Patients with Cirrhosis	早田 哲郎 他	消化器内科
胃と腸 44(6):1013-1019, 2009.5	全身性自己免疫疾患における十二指腸・小腸病変の特徴	青柳 邦彦 他	消化器内科
Scand J Gastroenterol 44:1323-31, 2009	Oral administration of mesalazine protects against mucosal injury and permeation in dextran sulfate sodium-induced colitis in rats.	林 由浩 他	消化器内科
Annals of Human Genetics 74(2):126-136,2010.3	Population-specific susceptibility to Crohn's disease and ulcerative colitis; dominant and recessive relative risks in the Japanese population	向坂 彰太郎 他	消化器内科

Digestive Endoscopy 22,39-44,2010.1	VALIDITY OF ACTIVITY INDICES IN ULCERATIVE COLITIS: COMPARISON OF CLINICAL AND ENDOSCOPIC INDICES	青柳 邦彦 他	消化器内科
Hepatogastroenterology 2010 Jan-Feb;57(97):3- 7.	Clinical advantages of combined seton placement and infliximab maintenance therapy for perianal fistulizing Crohn's disease: when and how were the seton drains removed?	青柳 邦彦 他	消化器内科
Clin Exp Nephrol. 13(5):473-479, 2009	Anemia and hypertension are risk factors for both renal prognosis and survival in patients with diabetes mellitus.	笹富 佳江	腎臓・膠原病内科
Clin Nephrol. 73 ;5; 385- 91, 2010	An amplification of IL-10 and TGF- β in patients with IgG5-related tubulointerstitial nephritis.	中島 衡	腎臓・膠原病内科
Mod Rheumatol. 19:33- 41, 2009	Deficiency in EBV-induced gene 3 (EBI3) in MRL/lpr mice results in pathological alteration of autoimmune glomerulonephritis and sialadenitis.	中島 衡	腎臓・膠原病内科
Am J Nephrol 30(1):1- 11, 2009	Amelioration of Diabetic Nephropathy in OLETF Rats by Prostaglandin I2 Analog, Beraprost Sodium	渡辺 真穂	腎臓・膠原病内科
Clin Exp Nephrol 13(5)::430-437, 2009	Lipoprotein glomerulopathy induced by ApoE- Sendai is different from glomerular lesions in aged apoE-deficient mice.	石村 春令	腎臓・膠原病内科
Respir Med. 2009 Aug;103(8):1209-15.	Coexistent emphysema delays the decrease of vital capacity in idiopathic pulmonary fibrosis.	赤木 隆紀	呼吸器内科
Eur Respir J 2009 Jul;34(1):281-3.	Histological findings of the computed tomography halo in pulmonary sarcoidosis.	原田 泰志	呼吸器内科
Pathol Int. 2010 Jan;60(1):14-21.	Epithelial-mesenchymal transition in human lungs with usual interstitial pneumonia: quantitative immunohistochemistry.	原田 泰志	呼吸器内科
呼吸 2009 Nov;28(11):1131-36.	成人気管支喘息におけるイージー・アズマ・プログ ラム (EAP) の有用性についての検討	豊島 秀夫	呼吸器内科
Neuropathology. 29(5):632-636, 2009	Continuous intraventricular infusion of pentosan polysulphate : clinical trial against prion diseases.	坪井 義夫 他	神経内科・健康管理 科
J Atheroscler Thromb. 16(3):194-200, 2009	Genotypic Effect of ABCG1 gene promoter - 257T>G polymorphism on coronary artery disease severity in Japanese men.	馬場 康彦 他	神経内科・健康管理 科
Neurology. 73:1584- 1591, 2009	International study on the psychometric attributes of the non-motor symptoms scale in Parkinson disease	坪井 義夫 他	神経内科・健康管理 科
Parkinsonism Relat Disord. 15:598-601, 2009	Prevalence of restless legs syndrome in a Japanese elderly population.	坪井 義夫 他	神経内科・健康管理 科
Br J Pharmacol. 158:1165-1172, 2009	Reversal of temperature- induced conformational changes in the amyloid-beta peptide, A β 40, by the β -sheet breaker peptides 16-23 and 17-24.	山田 達夫 他	神経内科・健康管理 科
老年精神医学雑誌. 20 (9) :997-1008, 2009	ドネペジル塩酸塩によるアルツハイマー型認知症 患者とその家族の包括的健康関連QOL指標の変 化に関する研究	山田 達夫 他	神経内科・健康管理 科
老年歯科医学. 24:306- 310, 2009	パーキンソン病患者の流涎と摂食・嚥下障害の関 係	坪井 義夫 他	神経内科・健康管理 科
地域保健. 40 (12) :64- 69, 2009	軽度認知障害者への非薬物的介入効	長 愛 他	神経内科・健康管理 科
神経内科. 71:594-599, 2009	頭部MRIで可逆性変化を認めた低血糖を伴った Marchiafava-Bignami病の1例	津川 潤 他	神経内科・健康管理 科
老年精神医学雑誌. 20 (9) :1009-1021, 2009	認知症医療によるアルツハイマー型認知症の本人 および介護者の包括的健康関連QOL指標の変 化	山田 達夫 他	神経内科・健康管理 科
J Neurol Sci . 26:1-8, 2010	Dietary intake of folate, vitamin B6, vitamin B12 and riboflavin and risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	山田 達夫 他	神経内科・健康管理 科
J Neurol Sci. 288:117- 122, 2010	Dietary fat intake and risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	山田 達夫 他	神経内科・健康管理 科

Nutrition. 26:515-521, 2010	Dietary glyceic index is inversely associated with the risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	山田 達夫 他	神経内科・健康管理科
Acta Neurol Scand. 121: 127-130, 2010	Less protease-resistant PrP in a patient with sporadic CJD treated with intraventricular pentosan polysulphate.	坪井 義夫 他	神経内科・健康管理科
Pediatric International (vol.51;337-341,2009年)	Survival and late effects on development of patients with infantile brain tumor	野村 優子 他	小児科
Pathology International (vol.59;438-442,2009年)	Hepatocellular apoptosis associated with cytotoxic T/natural killer-cell infiltration in chronic active EBV infection	野村 優子 他	小児科
Pathology International (vol.59;631-635,2009年)	Phenotype for activated tissue macrophages in histiocytic necrotizing lymphadenitis	野村 優子 他	小児科
Neurology (vol.73;1214-1217,2009年)	Deletions involving both KCNQ2 and CHRNA4 present with benign familial neonatal seizures	廣瀬 伸一 他	小児科
Brain Dev (vol.31;27-33,2009年)	A de novo KCNQ2 mutation detected in non-familial benign neonatal convulsions	石井 敦士 他	小児科
Brain (vol.31;758-762,2009年)	Missense mutation of the sodium channel gene SCN2A causes Dravet syndrome.	廣瀬 伸一 他	小児科
J Med Genet (vol.46;671-679,2009年)	Physico-chemical property changes of amino acid residue accompanied with missense mutations in SCN1A affect the epilepsy phenotype severity	廣瀬 伸一 他	小児科
Epilepsia (vol.50;2158-2162,2009年)	Hemiconvulsion-hemiplegia syndrome in a patient with severe myoclonic epilepsy in infancy	廣瀬 伸一 他	小児科
Epilepsy Res (vol.87;82-85,2009年)	Lack of potassium current in W309R mutant KCNQ3 channel causing benign familial neonatal convulsions (BFNC)	廣瀬 伸一 他	小児科
Brain Dev (vol.31;179-182,2009年)	Novel de novo splice-site mutation of SCN1A in a patient with epilepsy with febrile seizures plus	廣瀬 伸一 他	小児科
Ann Thorac Surg 2009; 88: 1745-8	Clinical outcome after pulmonary resection for lung cancer patients on hemodialysis	大淵 俊朗	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Thorac Cardiovasc Surg 2009; 57: 1-5	Prognosis of patient after pulmonary artery plasty for non-small cell lung cancer	大淵 俊朗	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
J Heart Lung Transplant. 2009 Nov;28(11):1172-9.	PPARalpha ligand WY14643 reduced acute rejection after rat lung transplantation with the upregulation of IL-4, IL-10 and TGFbeta mRNA	柳澤 純	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
J Parent Enter Nutr (JPEN) 33(4): 417-	Need for thiamine in the peripheral parenteral nutrition after abdominal surgery in children	増本 幸二	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Pediatr Surg Int 25(6): 487-492, 2009	Improvement in the outcome of patients with antenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia using gentle ventilation and circulatory	増本 幸二	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
World J Gastroenterol 15(31): 3590-3593, 2009	Duodenal stenosis resulting from a preduodenal portal vein and an operation for scoliosis	増本 幸二	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Med. Bull. Fukuoka Univ. 2009; 36:	Clinical outcome of double lobectomy for metachronous double primary carcinoma	大淵 俊朗	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本呼吸器外科学会雑誌	肺原発多形癌25切除例の検討	濱武 大輔	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
整形外科 60(5):419-422, 2009	距骨骨軟骨損傷に対する鏡視下bone marrow stimulation techniqueの検討	吉村 一朗	整形外科
European Spine Journal 18(6):877-883, 2009	The relationship between the cervical spinal canal diameter and the pathological changes in the cervical spine	森下 雄一郎	整形外科
Monthly Book Orthopaedics 22(5): 105-109, 2009	Femoroacetabular impingement(FAI)	内藤 正俊	整形外科

関節鏡 34(2):114-119, 2009	肩関節拘縮に対する鏡視下関節授動術 一部分関節包切離と全周性関節包切離との比較	伊崎 輝昌	整形外科
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌 21:66-69, 2009	後方関節包拘縮を伴ったSLAP type II投球障害肩の治療経験	伊崎 輝昌	整形外科
Hip Joint 35:108-110, 2009	Mayo conservative hip prosthesis再置換術の経験	田中 祥継	整形外科
Hip Joint 35:219221, 2009	Curved Periacetabular Osteotomyのための血管解剖 -恥骨骨切りと閉鎖動脈の走行-	木下 浩一	整形外科
Hip Joint 35:222-225, 2009	Curved Periacetabular Osteotomy(CPO)における閉鎖動脈と坐骨骨切り部位の位置関係の解剖学的検討	鎌田 聡	整形外科
Hip Joint 35:230-232, 2009	40歳以上の患者に対する手術侵襲と合併症 - Curved Periacetabular OsteotomyとTotal Hip Arthroplastyの比較 -	木山 貴彦	整形外科
Hip Joint 35:238-241, 2009	進行期・末期変形性股関節症に対するCurved Periacetabular Osteotomyの術後remodelingについて	竹山 昭徳	整形外科
Hip Joint 35: 242-245, 2009	Curved Periacetabular Osteotomy術後に人工股関節全置換術を施行した症例の検討	加島 伸浩	整形外科
Hip Joint 35: 675-677, 2009	セメントレスTHAのステムアラインメンがステム周囲の骨密度に与える影響	寺谷 威	整形外科
Hip Joint 35: 719-721, 2009	白蓋形成不全股における外転筋力訓練による股関節動的不安定性の変化	前山 彰	整形外科
Hip Joint 35: 821-824, 2009	股関節後側方アプローチにおける後方軟部組織の修復	唐島 大節	整形外科
Journal of Bone and Joint Surgery(Br) 91: 1438-1442, 2009	Periacetabular osteotomy reduces the dynamic instability of dysplastic hips	前山 彰	整形外科
Spine 34(24): 2642-2645, 2009	The Kinematic Relationships of the Upper Cervical Spine	森下 雄一郎	整形外科
Current Orthopaedic Practice 20(5): 552-56, 2009	Measurement of the impact force of the femoral component during cementless total hip arthroplasty	篠田 毅	整形外科
Journal of Bone and Joint Surgery(Am) 92(1): 31-41, 2010	Periacetabular Osteotomy in Patients Fifty Years of Age or Older	前山 彰	整形外科
整形外科 61(3): 201-203, 2010	遠位後骨間神経症候群の検討	野田 大輔	整形外科
整形外科と災害外科 59(1): 195-201, 2010	糖尿病性シャコール足の治療経験	金澤 和貴	整形外科
Progress in Medicine : Oct. 2009, 29(10): 143-148	冠動脈バイパス術後心房細動予防におけるプロパフェノン塩酸塩の効果	伊藤 信久	心臓血管外科
日本心臓血管外科学会雑誌 : Nov. 2009, 38(6): 389-393	クロピドグレル投与中のOPCAB施行例でトランネキサム酸による出血対策が有効であった1例	岩橋 英彦	心臓血管外科
Heart Surgery Forum : Dec. 2009, 12(6): 295-300	Endoscopic radial artery harvesting for coronary artery bypass grafting: the initial clinical experience and results of the first 50 patients	伊藤 信久	心臓血管外科
CI研究 31(1):7 - 12, 2009	神経腫の性状評価におけるDiffusion, PerfusionおよびProton MR Spectroscopyの役割	大城 真也	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 18(9):681 - 686, 2009	未破裂脳底動脈先端部動脈瘤の自然経過と外科治療	竹本 光一郎	脳神経外科
Clin Experimental Dermatol 34(3):411-412, 2009	Contact allergy to ketoconazole cross-sensitive to miconazole.	今福 信一	皮膚科

日本皮膚科学会雑誌 119(7)1261-1270,2009	炎症性皮膚疾患における顆粒球、単球のC5a receptor及びC5L2発現	佐藤 典子	皮膚科
Acta Derm Venereol 89(3):331-332, 2009	Subcutaneous metastasis due to primary central nervous system malignant lymphoma.	古賀 文二	皮膚科
J Med Ultrasonics 36:3-8,2009	Growth inhibition of neurofibroma by ultrasound-mediated interferon γ transfection.	山口 和記	皮膚科
Fertility and Sterility 91:1035-1041, 2009	Amphiregulin is much more abundantly expressed than transforming growth factor- α and epidermal growth factor in human follicular fluid obtained from patients undergoing in vitro fertilization-embryo transfer	井上 善仁 他	産婦人科
J Obstet Gynecol Res 35:405-413,2009	Investigation of β 2-adrenoceptor subtype selectivity and organ specificity for bedoradrine (KUR-1246), a novel tocolytic beta-adrenergic	井上 善仁 他	産婦人科
Life Scien 84 : 796-804, 2009	Amphiregulin regulates the production of human chorionic gonadotropin in trophoblasts	深見 達弥 他	産婦人科
J Obstet Gynecol Res 35:782-786, 2009	The efficacy of preoperative hormonal therapy before laparoscopic cystectomy of ovarian endometriomas	辻岡 寛 他	産婦人科
Int J Cancer 124:1429- 1439, 2009	Synergistic anti-tumor effect of paclitaxel with CRM197, an inhibitor of HB-EGF, in ovarian cancer	八木 裕史 他	産婦人科
Fertility and Sterility 91: 935e1-935e3, 2009	A normal uterus communicating with a double cervix and the vagina: a müllerian anomaly without any present classification	城田 京子 他	産婦人科
International Journal of Gynecological Cancer 19:1052-1056, 2009	Monitoring of endometrial K-ras mutation in tamoxifen-treated patients with breast cancer	辻岡 寛 他	産婦人科
Acta Cytologia 53 : 24- 28, 2009	Endometrial cytologic findings in tamoxifen-treated breast cancer patients	蜂須賀 徹 他	産婦人科
日本周産期新生児医学 会雑誌 45:1037-1039, 2009	経産婦における妊娠中期の頸管長短縮過程と分娩歴との関連に関する検討	吉里 俊幸 他	産婦人科
日本受精着床学会雑誌 26: 240-243,2009	周産期からみた6年間の不妊治療後妊娠の検討と多胎妊娠の今後の課題	伊東 裕子 他	産婦人科
日本分子腫瘍マーカー 研究会誌 24(1): 73-75, 2009	HB-EGFとAmphiregulinを標的とした癌治療	八木 裕史 他	産婦人科
Eye 23:1619-1621, 2009	Novel mutation in PAX3 gene in Waardenburg syndrome accompanied by unilateral macular degeneration	小沢 昌彦	眼科
Ophthalmologica 223:233-238, 2009	Clinical evaluation of local ocular toxicity in candidate anti-adenoviral agents in vivo	井上 浩利	眼科
Am J Ophtholmo 25:265-270,2009	Late recurrence of retinal detachment following successful vitreous surgery for stage 4B and 5 retinopathy of prematurity	近藤 寛之	眼科
臨床眼科 63:1081- 1085, 2009	Aggressive posterior retinopathy of prematurityの臨床経過と治療成績	有田 直子	眼科
アレルギーの臨床 29:798-801,2009	アトピー性角結膜炎に対するシクロスポリン点眼薬の治療効果	内尾 英一	眼科
臨床眼科 63:1211- 1216, 2009	アレルギー性結膜疾患における全身アレルギー疾患合併の頻度	右田 博敬	眼科
眼科臨床紀要 2,351-356,2009	家族性滲出性硝子体網膜症	近藤 寛之	眼科
眼科手術 22,429- 432,2009	急性網膜壊死の硝子体手術後のシリコンオイル抜去	井上 浩利	眼科
Jpn. J. Pharm.Palliat. Care Sci.(日本緩和医療 薬学雑誌) 2:7-12	Analysis of Efficacy, Safety, and Quantity of Rescue Doses of Morphine Sulfate Formulations for Cancer Pain.	中川 尚志	耳鼻咽喉科

Jpn. J. Pharm.Palliat. Care Sci.(日本緩和医療薬学雑誌) 2:81-85	Relationship between the Level of Opioid Stress and the Process of Administration Services.	中川 尚志	耳鼻咽喉科
Otitis Media 2009 127-129 5.6-10. 2009	Ototoxicity and Bacteriostatic Activity of Various Solutions Used in the Middle Ear.	山野 貴史	耳鼻咽喉科
Otitis Media 2009 139-141 5.6-10. 2009	Bacteriostatic Activity of Methylrosaniline Chloride (Gentian Violet).	樋口 仁美	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床 55:157-161 2009 4.10	高齢者の口腔内水分量測定と口腔ケアについて	松井 郁 他	耳鼻咽喉科
J Radiat Res (Tokyo) 2010;51(1):87-90. Epub 2009 Sep 16.	Corrugated fiberboard as a positioning insert for patients undergoing radiotherapy.	中村 和正 他	放射線科
Fukuoka Igaku Zasshi 100(2):59-66.2009	Preliminary results of radiation therapy for locally advanced or recurrent adenoid cystic carcinomas of the head and neck using combined conventional radiation therapy and hypofractionated inverse planned stereotactic radiation therapy.	野元 諭 他	放射線科
The Liver Cancer Journal(1883-9347) 1巻2号 Page41-47(2009.11)	目で見る肝癌 MDCTによる肝細胞癌の診断 プロトコールの考え方	吉満 研吾、他	放射線科
内科(0022-1961) 104巻4号 Page678-682(2009.10)	肝癌撲滅最前線 肝癌に対する肝動脈(化学)塞栓療法の最近の動向(解説/特集/抄録あり)	岡崎 正敏 他	放射線科
コンセンサス癌治療 (1347-4618) 8巻3号 Page148-151(2009.08)	肝細胞癌の治療2009~2011 肝細胞癌の治療法 経カテーテル的肝動脈化学塞栓療法(解説/特集)	岡崎 正敏 他	放射線科
日独医報(0912-0351) 54巻2号 Page130-145(2009.07)	【肝臓のMRI 画像の基礎と診断戦略】肝臓の画像診断戦略 代表的肝腫瘍性病変の細胞外液性gadolinium造影剤による造影MR画像 日本の画像診断の現状と将来展望(解説/特集)	岡崎 正敏 他	放射線科
日臨床泌尿器科(0385-2393)	【泌尿器科専門医のための臓器別画像診断のポイント】副腎の画像診断におけるポイント(解説/特集/抄録あり)	吉満 研吾、他	放射線科
最新医学(0370-8241) 64巻6号 Page1196-1201(2009.06)	【泌尿器科専門医のための臓器別画像診断のポイント】副腎の画像診断におけるポイント(解説/特集/抄録あり)	中村 和正 他	放射線科
臨床(0047-1852) 67巻日本増刊号3 肝癌 Page416-420(2009.05)	【肝癌 基礎・臨床研究のアップデート】肝癌の治療 腫瘍因子からみた治療戦略 進行肝細胞癌(解説/特集)	岡崎 正敏 他	放射線科
Urology View(1347-9636) 7巻2号 Page77-81(2009.04)	【進行前立腺癌の治療Update】緩和療法としての放射線療法(解説/特集)	中村 和正 他	放射線科
消化器の臨床(1344-3070) 11巻6号 Page628-636(2008.12)	【胆道疾患の診断の進め方】画像診断の基本と実際 画像検査をどう使いこなすか その特徴、使い分け、組み合わせ CT(解説/特集/抄録あり)	吉満 研吾、他	放射線科
Ann Nucl Med (23:209-215, 2009)	Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007	桑原 康雄 他	放射線科
Innervation (24:12 2009)	肝細胞がんに対する一時的肝静脈バルーン閉塞下肝動脈化学塞栓術	東原 秀行	放射線科
Rad Fan vol7.No.13 57-58	基本に立ち戻って親カテーテル/ガルディングシステムを考える Twist B catheterの使用経験	高良 真一 他	放射線科
J. Kyushu Dent. Soc., 63(1):1-7, April, 2009	Skeletal Stability after a Mandibular Setback Using Sagittal Sprit Osteotomy Fixed by Titanium Miniplates or Two	古田 治彦	歯科口腔外科
Spec Care Dentist, 29(5):210-214, 2009	Masticatory dysfunction in patients with myotonic dystrophy (type 1): a 5-year follow up	梅本 丈二	歯科口腔外科
老年歯科医学、 24(3):306-310, 2009	調査報告 - パーキンソン病患者の流涎と摂食・嚥下障害の関係	梅本 丈二	歯科口腔外科
日本顎変形症学会雑誌、 19(3):145-149, August 2009	下顎枝矢状分割術時における貯血式自己血輸血の検討	瀬戸 美夏	歯科口腔外科
日本歯科麻酔学会雑誌、 37(5):584-585, 2009	脊髄小脳変性症による運動失調が著明な患者の三叉神経痛様疼痛に行った薬剤処方について	瀬戸 美夏	歯科口腔外科

Joint Bone Spine. 76(1):50-6, 2009	Metastatic disease involving the discovertebral junction of the spine.	鍋島 一樹 他	病理部
Virchows Arch 454: 61-70, 2009	Small cluster invasion: a possible link between micropapillary pattern and lymph node metastasis in pT1 lung adenocarcinomas.	鍋島 一樹 他	病理部
Oncology Reports 21: 601-607, 2009	Presence of microsatellite lesions with colorectal liver metastases correlate with intrahepatic recurrence after surgical resection.	鍋島 一樹 他	病理部
Acta Cytol 53(1):24-8, 2009	Endometrial cytologic findings in tamoxifen-treated breast cancer patients.	鍋島 一樹 他	病理部
Cancer Sci. 100(4):654-62, 2009	Up-regulated expression of ADAM17 in gastrointestinal stromal tumors: coexpression with EGFR and EGFR ligands.	鍋島 一樹 他	病理部
Life Sci. 84(23-24): 796-804, 2009	Amphiregulin regulates the production of human chorionic gonadotropin in trophoblasts.	鍋島 一樹 他	病理部
Anticancer Res 29: 919-926, 2009	Management of pilomyxoid astrocytomas: Our experience.	鍋島 一樹 他	病理部
Anticancer Res. 29(3):851-7, 2009	Claudin-1 Protein is a Major Factor Involved in the Tumorigenesis of Colorectal Cancer.	鍋島 一樹 他	病理部
Eur Respir J 34: 281-283, 2009	Histological findings of the computed tomography halo in pulmonary sarcoidosis.	鍋島 一樹 他	病理部
Brain Tumor Pathol. 26(1):25-9, 2009	A case of a heavily pigmented orbital melanocytoma.	鍋島 一樹 他	病理部
診断病理 26 (3): 159-163, 2009	造血幹細胞移植後に発症したconstrictive bronchiolitis obliteransの一例.	鍋島 一樹 他	病理部
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌40: 65-71, 2009	下垂体クルーク細胞腺腫の1例	鍋島 一樹 他	病理部
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌40: 41-46, 2009	ラブドイド形質を示した低分化卵巣癌の1例	鍋島 一樹 他	病理部
Neurologia medico-chirurgica 40: 65-71, 2009	Primary yolk sac tumor within the lateral ventricle. Case report.	鍋島 一樹 他	病理部
Pathol Int 59(12): 874-879, 2009	Pleural malignant mesothelioma with invasive micropapillary component and its association with pulmonary	鍋島 一樹 他	病理部
J Lipid Res 50:1832-1841,2009	Effects of rosuvastatin on electronegative LDL as characterized by capillary isotachopheresis: the ROSARY Study.	松永 彰	臨床検査部
医学検査 58(10): 1174-1178,2009	福岡大学病院におけるC型肝炎ウイルス遺伝子検査の実施状況	池上 由美子 他	臨床検査部
Japan J Antibiot. 62:501-508, 2009	2006~2008年の3年間に分離された緑膿菌の薬剤感受性に関する検討	吉村 尚江 他	臨床検査部
日本検査血液学会雑誌 11: 22-27, 2010	遺伝性球状赤血球症の診断法eosin-5-maleimide binding testの有用性	井手口 裕 他	輸血部

計179件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 内藤 正 俊
管理担当者氏名	庶務課長 米 嶋 邦 章、医療管理課長 藤 恵 治 医事課長 青 柳 征 一、医療情報部事務室室長 金森 勝 俊 薬剤部長 二 神 幸 太 郎、放射線部技師長 稲 富 孝 治

	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	庶務課、各診療科 医療情報部（紙カルテ：カルテ庫、電子カルテ：情報管理棟）、放射線部、手術部、薬剤部、看護部、臨床検査部・病理部	・平成21年8月5日から、入院診療録、外来診療録とも電子カルテシステムの運用を開始。電子カルテシステムは全て患者登録番号で管理。紙での保管を要する診療記録については、電子カルテシステム稼働以前と同じ保管形式を採用。電子カルテシステム稼働以前の入院診療録は、入院期間毎に作成され、ターミナル・プリント方式にて分類保管。外来診療録は、各科共通として患者ごとに作成され、登録番号順に保管。入院診療録は最終来院日から20年間、外来診療録は15年間保管。入院診療録の病歴データは病歴管理システムの部門サーバーに保存。 ・薬剤管理指導記録はPICS（薬剤管理指導支援システム）から電子カルテに送信、各患者カルテに保管。同記録はPICS上でも確認可能。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	
	高度の医療の提供の実績	医療管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課	
	高度の医療の研修の実績	庶務課	
	閲覧実績	庶務課 医療情報部	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療管理課 医療情報部	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 医療管理課 薬剤部	
	第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部	
		先進医療実績報告（帳票管理） 平成21年年間紹介率集計表（帳票管理） 外来患者日報・年報、入院患者月報・年報（帳票管理） 業務報告、病院年報 医療安全管理部にて一括管理 以下項目、上記と同じ	

況び 第九 条の 二十 三第 一項	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	感染制御部で管理 医療安全管理部にて一括管理 上記と同じ
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の	院内感染のための指針の策定状況	庶務課 感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	庶務課 感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	庶務課 感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	庶務課 感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター	
			庶務課及び感染制御部で管理 以下項目、上記と同じ 薬剤部で一括管理 以下項目、上記と同じ 臨床工学センターで一括管理 以下項目、上記と同じ

確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医療情報部長 志村 英夫
閲覧担当者氏名	医療情報部事務室長 金森 勝俊
閲覧の求めに応じる場所	研修センターA棟カルテ庫、医療情報部事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	3件
閲覧者別	医 師	延 3件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.6%	算定期間	平成27年4月/日～平成28年3月3/日
算出根拠	A:紹介患者の数		12,955人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,879人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		319人
	D:初診の患者の数		2,405人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理の為の委員会及び院内組織に関する基本事項 3. 安全管理の為の職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした改善策を講ずる為の基本方針 5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
・ 活動の主な内容： 1. 医療安全管理委員会 (月に1回) 2. 医療安全管理部小委員会 (月に2回) 3. セーフティマネジャー会議 (月に1回)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
研修の主な内容： 別紙参照 (平成21年度 安全管理のための職員研修一覧)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① 医療安全管理者が抽出したインシデントの事例を医療安全管理部小委員会で検討を行っている。 また検討内容を議事録として各委員へ配布し、安全管理・危機管理意識が向上するように努めている。 ② 検討した事例で改善を要するものはセーフティマネジャー会を通じ、全医療従事者に周知徹底している。 ③ セーフティマネジャー会での内容は、端末で資料閲覧として職員向けに公開している。 ④ 医療安全管理部長又は安全管理者は、事故、インシデント、合併症発生時など、必要に応じ当事者、当該部署と個別に対応し指導する。特に重要事例に関しては、検討会を重ねて、迅速な対応を心掛けている。 ⑤ 改善結果を「安全管理レポート」としてフィードバックを行っている。 ⑥ 病院全体の問題として取り上げる必要がある事例は、医療安全管理委員会に提言し、安全管理の改善に役立てる。 ⑦ 毎週1回、医療安全管理カンファレンスを行っている。 内容は医療事故、合併症、インシデント事例の検討、医療安全教育の企画、医療相談窓口で対応した事例の検討等としている。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員：専任 (4) 名 兼任 (1) 名 ・ 活動の主な内容 《医療の安全管理》 以下7項目 《患者からの相談》 以下4項目 ① 安全管理に係る会の運営 ① 治療上の問題に関する事柄 ② 医療事故発生時の対応 ② 入院及び退院に関する事柄 ③ 医療安全に係る連絡調整 ③ 生活面及び経済的な問題に関する事柄 ④ 医療事故防止に向けた内部監査 ④ 相談内容に応じた関係部署及び関係機関との連絡調整に関する事柄 ⑤ インシデント報告・アクシデント報告の分析 ⑥ 安全管理に関する教育・研修 ⑦ 安全管理レポート・医療安全情報の発行	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無

平成21年度 安全管理のための職員研修一覧

開催日	内 容	講 師	対 象	計	場 所
2009/4/27	1) インフォームド・コンセント・同意書の現状	1) 志村英生 (医療情報部長)	全職種	1570	RI講義棟
	2) 医療事故・合併症・特異事例報告書について	2・3) 山下裕一 (医療安全管理部長)			
	3) パソコン盗難防止について				
2009/5/29	1) 福岡大学病院のインシデント・アクシデントの現状 職員に対する苦情とその対策	1) 寺田久子 (医療安全管理者) 田村賢二 (ソーシャルワーカー)	全職種	1452	RI講義棟
	2) 針刺し事故防止について	2) 橋本文代 (主任看護師・感染認定看護師)			
2009/7/29	福岡大学病院におけるVRE/MRAB事例について 秋冬に向けての新型インフルエンザ対策	森兼啓太 (東北大学大学院医学研究科内科病態学講座 感染制御・検査診断学講師)	全職種	1206	RI講義棟
2009/9/29	1) 医療事故対応と院内での暴言・暴力について	1) 山下裕一 (医療安全管理部長)	全職種	1089	RI講義棟
	2) 医療情報システムにおけるピットホール	2) 志村英生 (医療情報部長)			
	新型インフルエンザ流行期の院内対応	高田徹 (感染制御部長)			
2009/10/29	1) 東北大学病院における検査部発信型コンサルテーション	1) 平潟洋一 (東北大学大学院医学系研究科臨床微生物解析治療学教授)	全職種	711	RI講義棟
	2) 薬とリスク	2) 鷺山厚司 (医薬品安全管理責任者)			
2010/1/29	1) 災害発生時の対応	1) 喜多村泰輔 (救命救急センター医局長)	全職種	893	RI講義棟
	2) 薬剤と法律	2) 鷺山厚司 (医薬品安全管理責任者)			
2010/3/9	1) 医療材料の洗浄、消毒、滅菌について	1) 橋本文代 (主任看護師・感染認定看護師)	全職種	673	RI講義棟
	2) 職場におけるパワハラについて	2) 馬本誠也 福岡大学セクシュアル・ハラスメント防止対策委員長			
	3) 医療安全管理者としての2年間を振り返って	3) 寺田久子 (医療安全管理者)			
2009/6/29	1) 手術室における安全管理	1) 中川朋子 (手術部看護師長) 山下裕一 (手術部長)	医師 看護師	959	臨床大講堂
	2) インスリン療法の考え方	2) 安西慶三 (内分泌・糖尿病内科副診療部長)			
2010/1/8	1) 閉鎖式輸液ラインの変更について (シュワプラグ説明)	1) テルモ株式会社	医師 看護師	212	臨床大講堂
	2) 電子カルテにともなうインシデントと対策	2) 医療安全管理部 コメンテーター: 医療情報部、看護部			
-	/		合計	8765	

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 院内感染対策のための委員会および院内の組織に関する基本事項3. 感染対策に関する教育・研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応6. 感染対策指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感染対策委員会 (1回/月)・ 感染制御部会議 (1回/月)・ セーフティマネジャー会議 (1回/月)・ 看護部部内感染対策委員会 (1回/月)	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成21年5月29日 「針刺し事故防止について」 講師：橋本文代 (感染制御部 看護師長 院内)</p> <p>平成21年7月29日 「福岡大学病院におけるVRE/MRAB事例について」「秋冬に向けての新型インフルエンザ対策」 講師：森兼啓太 (東北大学大学院医学研究科病態学講座 感染制御・検査診断学講師 院外)</p> <p>平成21年10月29日 「東北大学病院における検査部発信型コンサルテーション」 講師：平潟洋一 (東北大学大学院医学系研究科 臨床微生物解析治療学教授 院外)</p> <p>平成22年3月9日 「医療器材の洗浄、消毒、滅菌について」 講師：橋本文代 (感染制御部 看護師長 院内)</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 1回/週ICT (ICD, ICN, 細菌検査技師, 薬剤師) が病棟ラウンドを行い、耐性菌サーベイランスを実施する。病棟ラウンドに際しては、資料 (細菌検査室で全部署2週間分の分離菌一覧表、薬剤部で抗MRSA使用患者一覧表、カルバペネム系抗菌薬使用患者一覧表、ICNが病棟別耐性菌検出患者一覧表、ラウンドシート) を準備する2. 感染対策システム (電子カルテ端末上) で毎日、血液培養陽性者、抗酸菌陽性者、新規多剤耐性菌検出患者等の報告を確認する3. 院内感染を疑う場合には、感染制御部内で連携し、関連部署と調整し対応する4. 行政への報告対応が必要な場合は、感染対策危機管理委員会を召集し事態の收拾を図る5. アウトブレイク等問題が発生した部署については、当該部署のスタッフを対象に研修会を開催する6. アウトブレイク介入事例については、病院職員に対して、電子カルテ端末上で通知、診療部長会セーフティマネジャー会を通して感染対策について周知徹底を図る	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年13回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 副作用救済制度について 薬と法律について 医薬品の投与経路について ウブレチド錠の留意事項（コリン作動性クリーゼ）について 抗生物質によるショック等に対する安全対策について など	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容： 医薬品の採用；薬事委員会において採用可否審議（薬剤部は事務局）、医薬品安全管理責任者は委員として参加 医薬品の管理；期限管理等を確認表を用いて各部署にて確認。月単位で医薬品安全管理責任者が確認。新規の重点管理薬に対しての手順策定など。 患者に対する医薬品の当薬師寺から調剤までに関する事項；ハイリスク薬品の調剤手順に従って調剤等。病棟巡回などで確認 患者に対する予約や服薬指導に関する事項；バーコードによる3点認証導入。薬剤管理指導の推進（持参薬管理から退院時指導まで） 医薬品情報の収集・管理・提供；医薬品情報室による情報収集と必要に応じた情報の提供推進。特に安全性にかかわる情報の発信 他施設との連携；持参薬管理による持ち込み医薬品の確認。退院時指導による入院中使用医薬品、副作用等の情報をおくすり手帳を介して提供する体制作り	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 薬剤部医薬品情報室が中心となって収集作業を行うその他の改善のための方策の主な内容： 電気メス引火誘因防止のため、手術中の追加消毒にはアルコール性の消毒薬は使わないこととした。 ウブレチド錠によるコリン作動性クリーゼ予防として、オーダ時にポップアップメニューにて注意喚起を促した。	